Citrix Gateway サービス

Machine translated content

Disclaimer

このコンテンツの正式なバージョンは英語で提供されています。Cloud Software Group ドキュメントのコンテンツの一部は、お客様の利便性のみを目的として機械翻訳されています。Cloud Software Group は機械翻訳されたコンテンツを管理していないため、誤り、不正確な情報、不適切な用語が含まれる場合があります。英語の原文から他言語への翻訳について、精度、信頼性、適合性、正確性、またはお使いの Cloud Software Group 製品またはサービスと機械翻訳されたコンテンツとの整合性に関する保証、該当するライセンス契約書またはサービス利用規約、あるいは Cloud Software Group とのその他すべての契約に基づき提供される保証、および製品またはサービスのドキュメントとの一致に関する保証は、明示的か黙示的かを問わず、かかるドキュメントの機械翻訳された範囲には適用されないものとします。機械翻訳されたコンテンツの使用に起因する損害または問題について、Cloud Software Group は責任を負わないものとします。

Contents

リリースノート **2**

Citrix Gateway サービスを始める **6**

セキュリティの技術概要 **6**

位置情報ルーティング-プレビュー **10**

NetScaler Gateway を **HDX** プロキシ用の **Citrix Gateway** サービスに移行する **12**

Citrix Gateway サービスの **EDT** サポートを備えた **HDX** アダプティブトランスポート **17**

Google Cloud Platform 上の **Citrix Gateway** サービス **21**

Citrix Virtual Apps and Desktops のサポート **23**

よくある質問 **24**

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

リリースノート

March 30, 2024

Citrix Gateway Service からクラウドへのリリースノートには、サービスリリースで発生する可能性のある新機能、既存の機能の強化、修正された問題、および既知の問題が記載されています。リリースノートには、次のセクションの 1 つまたは複数が含まれます:

新機能**:** 現在のリリースで利用できる新機能と拡張機能。

解決された問題**:** 現在のリリースで解決された問題。

既知の問題**:** 現在のリリースに存在する問題とその回避策 (該当する場合)。

2024 年 **2** 月 **27** 日

新機能

- **Google Cloud Platform** サポート

  Google Cloud Platform (GCP) POP のサポート、既存の Azure および AWS POP は、今後のサービスリリースで予定されています。

  現在、5 つの GCP POP が複数の地域に分散されています。今回のサポートにより、これらの GCP POP を既存の Azure および AWS POP とともに活用できるようになります。

  > 重要:
  >
  > Citrix DaaS 環境での運用を継続するには、2024 年 3 月 15 日までに「Citrix Gateway サービス—ポイントオブプレゼンス（POP）」に記載されている手順を完了してください。

2024 年 **2** 月 **1** 日

新機能

- トロント **(**カナダ**) Azure POP** のサポート

  カナダのトロントでの Azure POP のサポートは、今後のサービスリリースで予定されています。

  POP 完全修飾ドメイン名: `az-ca-c-rdvz.g.nssvc.net`

  [CGS-12933]

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

2023 年 11 月 2 日

新機能

- **HDX** 用レデューサーの最新バージョンのサポート

  Citrix Gateway サービスは、HDX 用のリデューサーの最新バージョンをサポートしています。Reducer for HDX は、仮想チャネル全体で機能する汎用コンプレッサーです。最新のレデューサーは、以下の機能により Citrix DaaS の全体的なパフォーマンスを向上させます：

  - HDX セッションのネットワーク帯域幅使用率を減らします。
  - データパケットはより短い時間で送信されるため、応答が速くなります。

  次のソフトウェアバージョンは最新のレデューサーをサポートしています。

  - Citrix Virtual Apps and Desktops 7 2303 (Windows) 以降。
  - Citrix Workspace アプリ 2303（Windows）以降。

  [CGS-16258]

2023 年 8 月 29 日

新機能

- 位置情報ルーティング-プレビュー

  Citrix Gateway Service は、ユーザーの所在地に関係なく、ユーザーが特定の地域の POP に接続したり、特定のクラウドサービスプロバイダーを介してのみ接続したりできるようにする機能を管理者に提供します。詳細については、「位置情報ルーティング-テクニカルプレビュー」を参照してください。

  [CGS-13782]

- **HDX** パフォーマンス分析

  Citrix Gateway サービスは、Citrix Analytics 管理者がコネクタゲートウェイの PoP レイテンシに関連するパフォーマンスデータを表示できるようにする HDX パフォーマンス分析機能をサポートしています。詳細については、「コネクタ統計」を参照してください。

  [CGS-15829]

- アクセラレーテッド・ネットワーキング

  Citrix Gateway Service のインフラストラクチャは、シングルルート I/O 仮想化（SR-IOV）を使用してユーザーに高性能なネットワーク機能を提供する高速ネットワークをサポートするように強化されています。

  [CGS-15684]

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

- 非推奨の弱暗号

  Citrix Gateway Service の廃止された暗号の最新リストについては、「技術的セキュリティの概要」を参照してください。

  [CGS-14234]

解決された問題

- EDT セッションは、Azure ロードバランサーでバックエンドプールが変更されるたびに切断されます。

  [CGS-15808]

2022 年 11 月 10 日

新機能

- **Rendezvous** プロトコルバージョン **V2** のサポート

  Citrix Gateway サービスは、Google Cloud Platform 上の Citrix ゲートウェイサービスのランデブープロトコルバージョン V2 をサポートするようになりました。詳しくは、「サポートされている Citrix Gateway サービスの機能」を参照してください。

- **Google Cloud Platform** 上の **Citrix Gateway** サービスのヨーロッパでの提供状況

  Google Cloud Platform 上の Citrix Gateway サービスが、ヨーロッパの以下の地域で利用可能になりました。

  - ロンドン
  - チューリッヒ

  詳細については、Google Cloud Platform の Citrix Gateway サービスを参照してください。

既知の問題

- 顧客 ID が 6 文字未満の場合、Rendezvous V2 VDA の登録は失敗します。

  [CGS-15036]

2022 年 6 月 30 日

新機能

- **Google Cloud Platform** での **Citrix Gateway** サービスの可用性

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

Google Cloud Platform（GCP）で Citrix Gateway Service がサポートされているため、Google Cloud 上でワークロードを実行しているお客様は、Citrix Gateway の最適なルーティング機能を使用して、Google Cloud の高性能グローバルネットワークを活用できます。最適なゲートウェイルーティング機能により、クライアントは最も近い GCP Citrix Gateway Service POP に誘導されます。また、Google Cloud 上の Citrix Gateway Service は、Citrix Workspace クライアントと仮想化リソース間の安全な接続を提供し、可能な限り低いレイテンシーと最高のユーザーエクスペリエンスでセッションを提供します。詳細については、Google Cloud Platform の Citrix Gateway サービスを参照してください。

2022 年 4 月 4 日

新機能

- リブランディングの変更
  - Citrix Secure Workspace Access は、Citrix Secure Private Access にリブランドされました。
  - Citrix Virtual Apps and Desktops サービスは、Citrix DaaS にブランド変更されました。

新機能

- **Citrix Gateway** サービスタイルを **Citrix Cloud** の **1** つの **Citrix Secure Private Access** に統合しました

2021 年 10 月 11 日

新機能

- **Citrix Gateway** サービスタイルを **Citrix Cloud** の **1** つの **Citrix Secure Private Access** に統合しました

  Citrix Gateway Service タイルと Citrix Secure Private Access タイルが Citrix Secure Private Access タイルに統合され、Citrix Gateway のランディングページが Citrix Secure Private Access 用に変更されました。そのため、**Virtual Apps and Desktops** と **Web/SaaS** アプリケーションの追加のショートカットは表示されません。ただし、Citrix Virtual Apps and Desktops のお客様は、［ワークスペース構成］**>**［アクセス］［外部接続］から Citrix Gateway Service を有効にできます。それ以外で、機能に変更はありません。

  Citrix Gateway サービスの次の機能は、Citrix Secure Private Access・サービスに移行されました。

  - SaaS およびエンタープライズ Web アプリの構成
  - 強化されたセキュリティ制御の有効化
  - コンテキストベースのポリシーの構成

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

Citrix Workspace Essentials や Citrix Workspace Standard を含む Citrix Secure Private Access のお客様は、1 つの Citrix Secure Private Access タイルを使用して、SaaS およびエンタープライズ Web アプリケーション、強化されたセキュリティ制御、コンテキストポリシー、および Web フィルタリングポリシーを構成できるようになりました。

[ACS-645]

Citrix Gateway サービスを始める

June 13, 2023

Citrix DaaS を利用できるお客様は、デフォルトで Citrix Gateway サービスが有効になります。お客様は、Citrix Gateway サービスの試用版を別途リクエストする必要はありません。詳しくは、「サービスへのサインアップ」を参照してください。

> 重要:
>
> Citrix Cloud のホームページには、Citrix Gateway サービスのタイルは表示されません。Citrix Gateway Service タイルと Citrix Secure Private Access タイルは Citrix Secure Private Access タイルに統合され、ランディングページは Citrix Secure Private Access 用に変更されます。そのため、**Virtual Apps and Desktops** のショートカットは表示されません。ただし、Citrix Virtual Apps and Desktops のお客様は、[ワークスペース構成] > [アクセス] [外部接続] から Citrix Gateway Service を有効にできます。それ以外で、機能に変更はありません。

セキュリティの技術概要

November 9, 2023

Citrix Cloud は Citrix Gateway サービスの運用を管理するため、お客様が NetScaler Gateway アプライアンスを管理する必要がなくなります。Citrix Gateway サービスは、Citrix Workspace アプリを通じてプロビジョニングされます。

Citrix Gateway サービスには次の機能があります:

HDX 接続: アプリとデスクトップをホストする仮想配信エージェント (VDA) は、クラウドまたはオンプレミスのいずれかのデータセンターで、お客様の制御下にとどまります。これらのコンポーネントは、Citrix Cloud Connector と呼ばれるエージェントを使用してクラウドサービスに接続されます。

DTLS 1.2 プロトコルのサポート: Citrix Gateway Service は、EDT（UDP ベースのトランスポートプロトコル）を介した HDX セッションのデータグラムトランスポート層セキュリティ（DTLS）1.2 をサポートしています。次の暗号スイートがサポートされています:

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384

TLS プロトコルのサポート： Citrix Gateway サービスは、次の TLS 暗号スイートをサポートしています：

- TLS1.2-ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384
- TLS1.2-ECDHE-RSA-AES-256-SHA384
- TLS1-ECDHE-RSA-AES128-SHA
- TLS1.2-AES256-GCM-SHA384
- TLS1-AES-256-CBC-SHA

Endpoint Management 統合： Citrix Endpoint Management と Citrix Workspace を統合すると、Citrix Gateway Service は内部ネットワークとリソースへの安全なリモートデバイスアクセスを提供します。Endpoint Management による Citrix Gateway サービスのオンボーディングは迅速かつ簡単です。Citrix Gateway Service には、Secure Mail や Secure Web などのアプリケーションに対する Citrix SSO のフルサポートが含まれています。

データフロー

Citrix Gateway サービスは、グローバルに分散されたマルチテナントサービスです。エンドユーザーは、Citrix Cloud Control プレーンの地理的選択やアクセスされるアプリケーションの場所に関係なく、必要な特定の機能を利用できる最も近い PoP（PoP）を使用します。認可メタデータなどの設定は、すべての POP に複製されます。

診断、監視、ビジネス、および容量計画のために Citrix が使用するログは、一元化された場所にセキュリティで保護され、保存されます。

お客様の構成は、一元化された場所に保存され、すべての POP にグローバルに分散されます。

クラウドとお客様の施設間でのデータ通信には、ポート 443 を介した安全な TLS 接続が使用されます。

ユーザー認証とシングルサインオンに使用される暗号化キーは、ハードウェアセキュリティモジュールに保存されます。

データ分離

Citrix Gateway サービスは以下のデータを保存します：

- お客様のアプリケーションの仲介と監視に必要な構成データ。データは、永続化されると顧客によってスコープに含まれます。
- 各ユーザデバイスの TOTP シード—TOTP シードのスコープは、顧客、ユーザー、およびデバイスによって設定されます。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

監査と変更管理

現在、Citrix Gateway Service では、監査ログと変更管理ログを顧客に提供していません。ログは Citrix が利用でき、エンドユーザーと管理者のアクティビティを監査するために使用できます。

資格情報の処理

サービスは、次の 2 種類の認証情報を処理します:

- ユーザー資格情報: エンドユーザーの資格情報（パスワードと認証トークン）を Citrix Gateway Service に提供して、次のことを実行できます:
  - Citrix Secure Private Access-このサービスは、ユーザーの ID を使用して、SaaS やエンタープライズ Web アプリケーション、その他のリソースへのアクセスを決定します。
  - シングルサインオン-サービスは、HTTP Basic、NTLM、またはフォームベースの認証を使用して、内部 Web アプリケーションへの SSO 機能を完了するために、ユーザーのパスワードにアクセスできる場合があります。HTTP 基本認証を特に構成しない限り、パスワードに使用される暗号化プロトコルは TLS です。
- 管理者資格情報: 管理者は Citrix Cloud に対して認証を行います。これにより、管理者が Citrix Cloud の管理コンソールにアクセスできる、ワンタイム署名付き JSON Web トークン（JWT）が生成されます。

> 注意事項

- パブリックネットワーク上のすべてのトラフィックは、Citrix が管理する証明書を使用して、TLS によって暗号化されます。
- SaaS アプリ SSO（SAML 署名キー）に使用されるキーは、Citrix によって完全に管理されます。
- MFA の場合、Citrix Gateway サービスは TOTP アルゴリズムのシードに使用されるデバイスごとのキーを保存します。
- Kerberos のシングル・サインオン機能を有効にするために、お客様は、Kerberos 制約付き委任の実行が信頼できるサービス・アカウントの認証情報（ユーザー名 + パスワード）を使用して Connector Appliance を構成する場合があります。

展開に関する考慮事項

Citrix Gateway Services の展開については、公開されているベストプラクティスドキュメントを参照することをお勧めします。SaaS アプリとエンタープライズ Web アプリの展開、およびネットワークコネクタに関する考慮事項の詳細については、以下のとおりです。

正しいコネクタの選択: ユースケースに応じて、正しいコネクタを選択する必要があります:

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

使用例	コネクタ	フォームファクター
ユーザー認証:Active Directory	Citrix Cloud Connector	Windows ソフトウェア
HDX コネクティビティ	Citrix Cloud Connector	Windows ソフトウェア
SaaS アプリへのアクセス	Citrix Cloud Connector	-
エンタープライズ Web アプリへのアクセス	Citrix Cloud Connector、Citrix Connector Appliance	-
Citrix Endpoint Management によって提供されるエンタープライズアプリとファイル	Citrix Cloud Connector、Citrix Connector Appliance	-

Citrix Cloud Connector のネットワークアクセス要件

Citrix Cloud Connector のネットワークアクセスの要件については、次を参照してください：https://docs.citrix.com/en-us/citrix-cloud/overview/requirements/internet-connectivity-requirements.html

Citrix Gateway サービス **HDX** 接続

Citrix Gateway サービスを使用すると、お客様のデータセンター内に NetScaler Gateway を導入する必要がなくなります。Citrix Gateway サービスを使用するには、Citrix Cloud から配信される Citrix Workspace を使用することが前提条件です。

お客様のベストプラクティス

お客様は、ネットワーク内で TLS を使用し、HTTP を介したアプリケーションに対して SSO を有効にしないことを推奨します。

廃止された暗号の組み合わせ

次の暗号の組み合わせは、セキュリティを強化するために廃止されました：

- TLS1.2-AES128-GCM-SHA256
- TLS1.2-AES-128-SHA256
- TLS1.2-AES256-GCM-SHA384
- TLS1.2-AES-256-SHA256
- TLS1.2-DHE-RSA-AES-256-SHA256
- TLS1.2-DHE-RSA-AES-128-SHA256
- TLS1.2-DHE-RSA-AES256-GCM-SHA384

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

- TLS1.2-DHE-RSA-AES128-GCM-SHA256
- SSL3-DES-CBC3-SHA
- TLS1-ECDHE-RSA-AES256-SHA
- TLS1-AES-256-CBC-SHA
- TLS1-AES-128-CBC-SHA
- TLS1-ECDHE-ECDSA-AES256-SHA
- TLS1-ECDHE-ECDSA-AES128-SHA
- TLS1-DHE-RSA-AES-256-CBC-SHA
- TLS1-DHE-RSA-AES-128-CBC-SHA
- TLS1-DHE-DSS-AES-256-CBC-SHA
- TLS1-DHE-DSS-AES-128-CBC-SHA
- TLS1-ECDHE-RSA-DES-CBC3-SHA
- TLS1.2-ECDHE-RSA-AES-128-SHA256
- TLS1.2-ECDHE-ECDSA-AES128-SHA256
- TLS1.2-ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384
- TLS1.2-ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256

位置情報ルーティング-プレビュー

November 9, 2023

Citrix Gateway Service は、ユーザーが特定の地域（POP）に接続できるようにする機能を管理者に提供します。そうすることで、ユーザーの場所に関係なく、ユーザーのトラフィックが特定の地域に転送されるようになります。

> 注意:
>
> https://podio.com/webforms/27328175/2108260を使用してプレビューにサインアップしてください。

次の表は、地理的位置ベースのトラフィックルーティングをサポートしている地域とその地域の POP を示しています:

地理的位置	POP
米国 - 東部	Azure 米国東部、AWS 米国東部、AWS 米国北中部
米国-中部および西部	Azure 米国西部、AWS 米国西部、Azure 米国南中部
米国	Azure 米国南中部、Azure 米国東部、Azure 米国西部、AWS 米国東部、AWS 米国西部、AWS 米国北中部
米国-Azure のみ	Azure 米国東部、Azure 米国西部、Azure 米国南中部

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

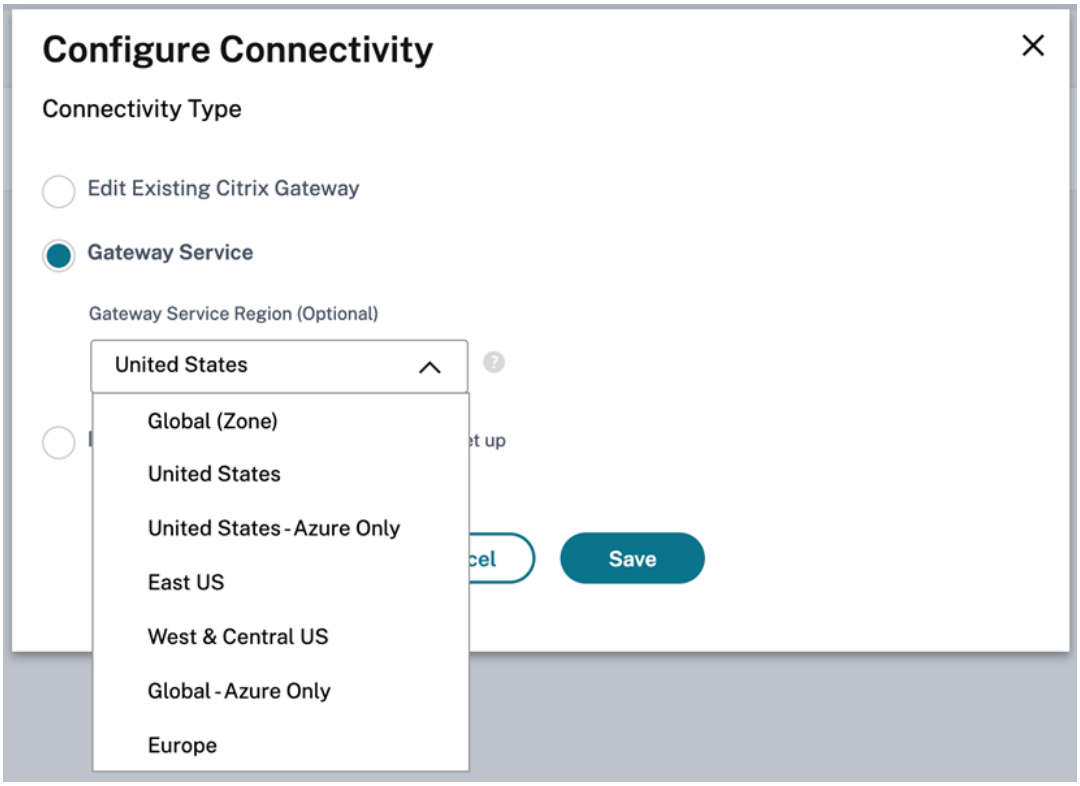
地理的位置	POP
ヨーロッパ	AWS-ヨーロッパ-中部、Azure-ヨーロッパ-西部、Azure-ヨーロッパ-北部
オーストラリア	Azure-オーストラリア-東部、AWS-オーストラリア-東部
グローバル-Azure のみ	Azure-米国-東部、Azure-米国-西部、Azure-米国-中部、Azure-ブラジル-南部、Azure-ヨーロッパ-北部、Azure-ヨーロッパ-北部、Azure-ヨーロッパ-北部、Azure-日本-東部、Azure-インド-南部、Azure-UAE-北部、Azure-南アフリカ、Azure-香港

構成方法

Citrix Cloud の［リソースロケーション］ページまたは［ワークスペース構成］ページから、ユーザートラフィックの特定のリージョンを構成できます。

1. Citrix Cloudにサインインします。
2. ハンバーガーメニューをクリックし、「リソースロケーション」または「ワークスペース構成」を選択します。
   a)「リソースロケーション」ページでロケーションを選択し、「ゲートウェイ」をクリックします。**[**接続の設定] 画面が表示されます。
   b)「ワークスペース構成」ページの「外部接続」で、場所を選択し、省略記号をクリックします。**[**接続の設定] 画面が表示されます。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.



3. 「ゲートウェイサービス地域 (オプション)」で、顧客トラフィックをルーティングする地域を選択します。

> 注:
>
> リージョンを何も選択しない場合、デフォルトで「グローバル」が選択されます。リージョンがグローバルの場合、トラフィックは顧客に最も近い POP に転送されます。
>
> まれに、障害が発生し、特定のリージョンのすべての POP が使用できない場合、構成はトラフィックをブロックせずにグローバルにフォールバックします。

4. ［保存］をクリックします。

NetScaler Gateway を HDX プロキシ用の Citrix Gateway サービスに移行する

November 9, 2023

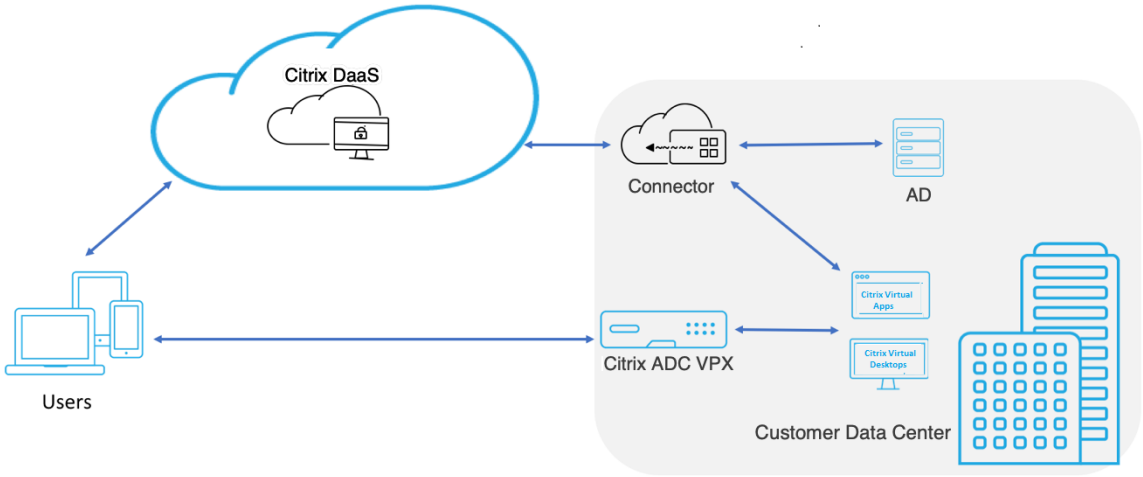
Citrix Gateway for HDX プロキシから、Citrix Cloud 上の Citrix Gateway Service を搭載したフルマネージドのクラウドベースの HDX プロキシに移行できます。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

クラウドベースの **HDX** プロキシ

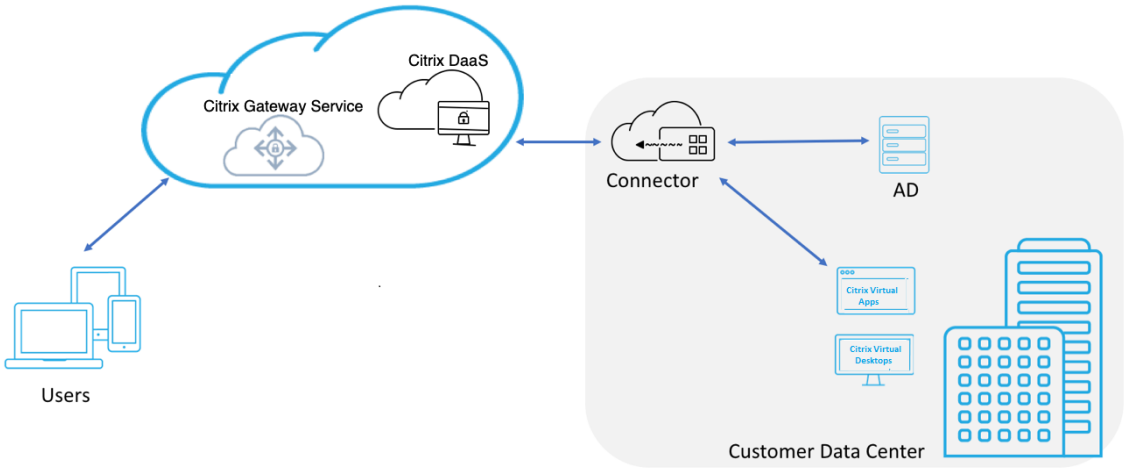
Citrix DaaS を利用できるお客様は、デフォルトで Citrix Gateway サービスが有効になります。お客様は、Citrix Gateway サービスの試用版を別途リクエストする必要はありません。

図 **1**: **NetScaler Gateway** を **HDX** プロキシとして導入



Citrix Gateway Service はクラウドベースの HDX プロキシで、Citrix DaaS 環境である仮想アプリとデスクトップ環境をフロントエンドするクラウドベースのゲートウェイを介して安全なリモートアクセスを提供します。

図 **2**: **HDX** プロキシとしての **Citrix Gateway** サービスによる導入:



この機能は、Citrix DaaS および Workspace Service 資格に含まれるようになりました。この機能を有効にできます。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

オンプレミスの **NetScaler Gateway** からクラウドベースの **Citrix Gateway** サービスへの移行

NetScaler Gateway アプライアンスはお客様が管理し、クラウドベースの Citrix Gateway サービスはシトリックスが管理します。このセクションでは、オンプレミスの NetScaler Gateway からクラウドホスト型の HDX プロキシ用 Citrix Gateway サービスに移行する方法について説明します。NetScaler Gateway と Citrix Gateway Service は HDX プロキシを提供しますが、基盤となるインフラストラクチャと動作メカニズムは異なります。ただし、クラウド上で HDX Proxy を有効にする手順は、数回クリックするだけでシンプルで簡単です。

この移行を有効にするには、Citrix DaaS 向け Citrix Gateway サービスを有効にします。有効にすると、トラフィックは Citrix Gateway サービスを通過し始め、オンプレミスの NetScaler Gateway は不要になります。

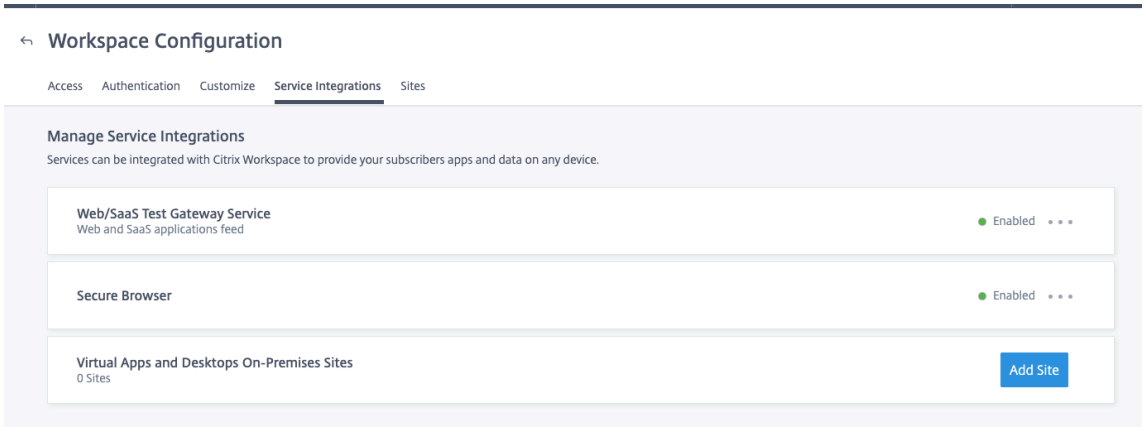
オンプレミスの NetScaler Gateway からクラウドベースの Citrix Gateway サービスへの移行を開始する前になされた前提条件は次のとおりです。

- お客様は Citrix Cloud サービスに登録し、Citrix DaaS を購入しました。
- 顧客はオンプレミスの Active Directory を使用して、クラウド上のユーザーを認証します。

Citrix Gateway サービスを有効にする

Citrix DaaS ユーザー向けに Citrix Gateway サービスを有効にする手順は次のとおりです:

1. 管理者ユーザーとして Citrix Cloud サービスにサインインします。
2. ハンバーガーアイコンをクリックし、「ワークスペース設定」を選択します。
3. [サービスの統合] をクリックします。
4. [ゲートウェイ] の横にある省略記号を探し、省略記号をクリックし、[有効にする] をクリックします。

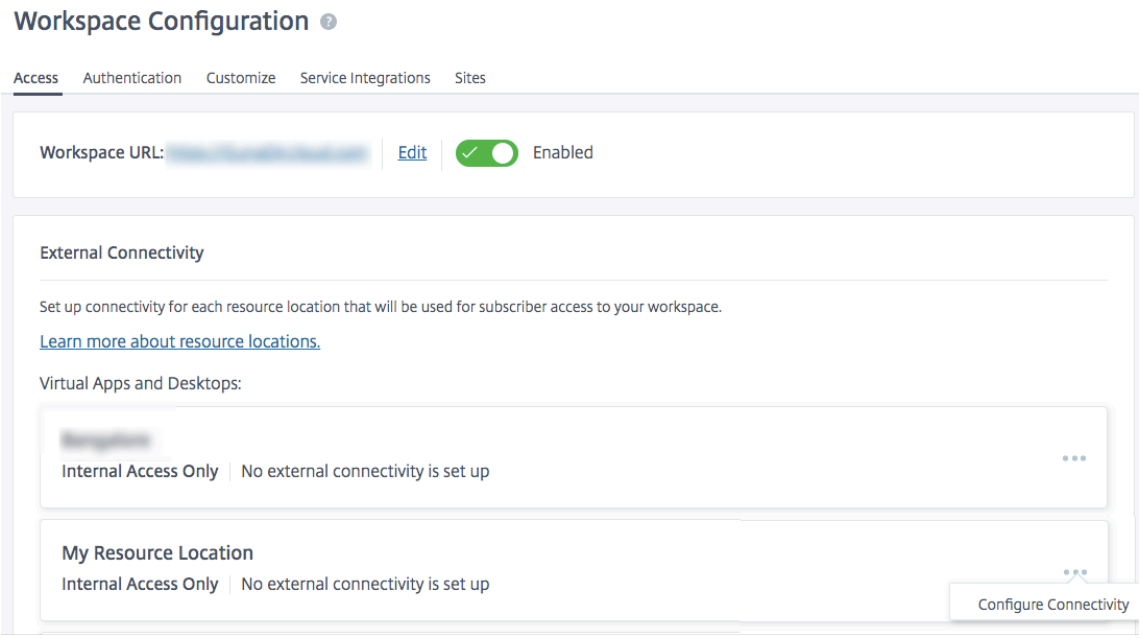


Citrix Workspace ユーザー向けに Citrix Gateway サービスを有効にする手順は次のとおりです。

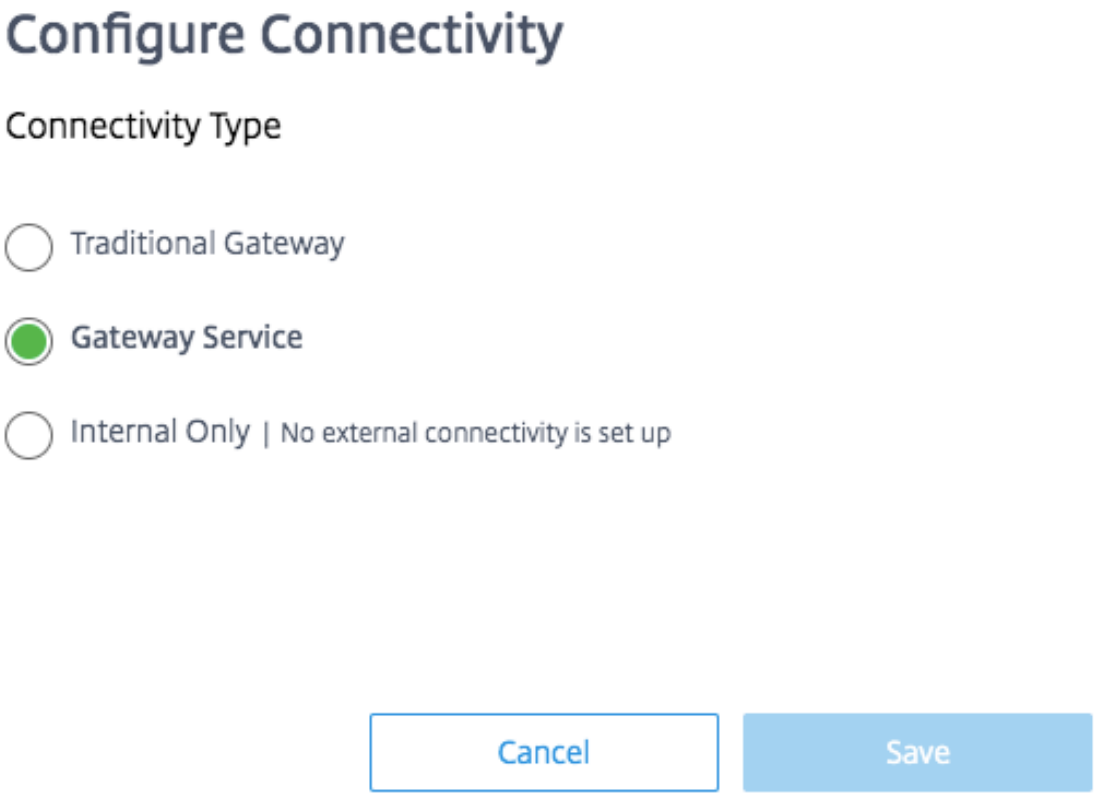
1. 管理者ユーザーとして Citrix Cloud サービスにサインインします。
2. ハンバーガーアイコンをクリックし、「ワークスペース設定」を選択します。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

3. ［アクセス］タブの［外部接続］セクションで、［**Citrix DaaS** ］の［マイリソースの場所］の横にある省略記号を探します。
4. 省略記号をクリックし、[接続の構成] をクリックします。



5. ポップアップウィンドウで「**Citrix Gateway** サービス」を選択し、「保存」をクリックします。

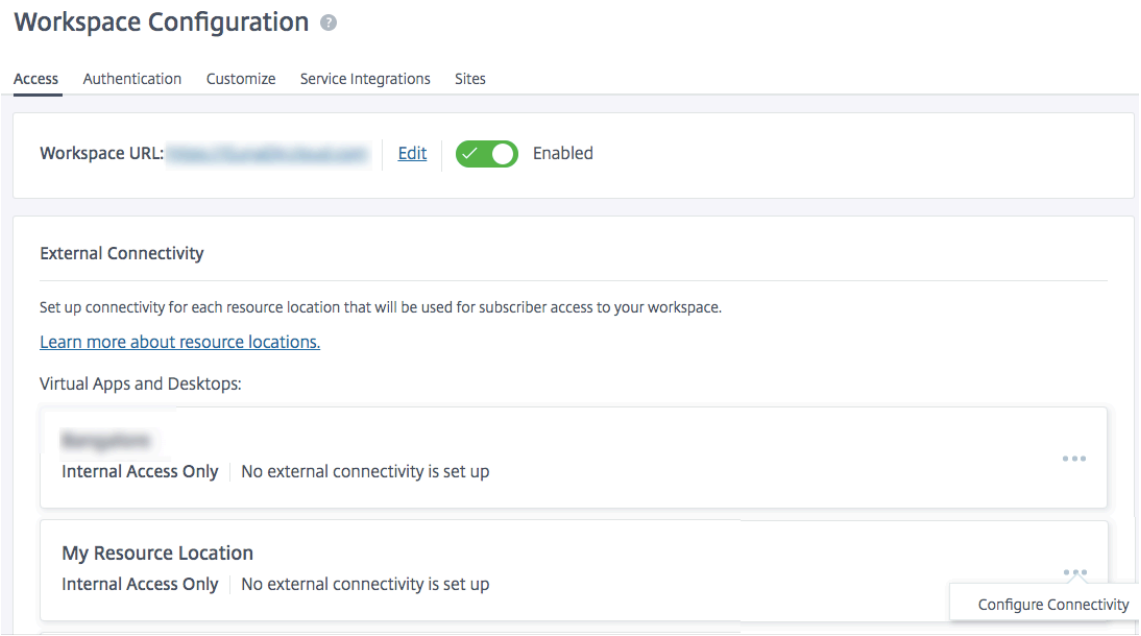


© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

NetScaler Gateway にロールバックする

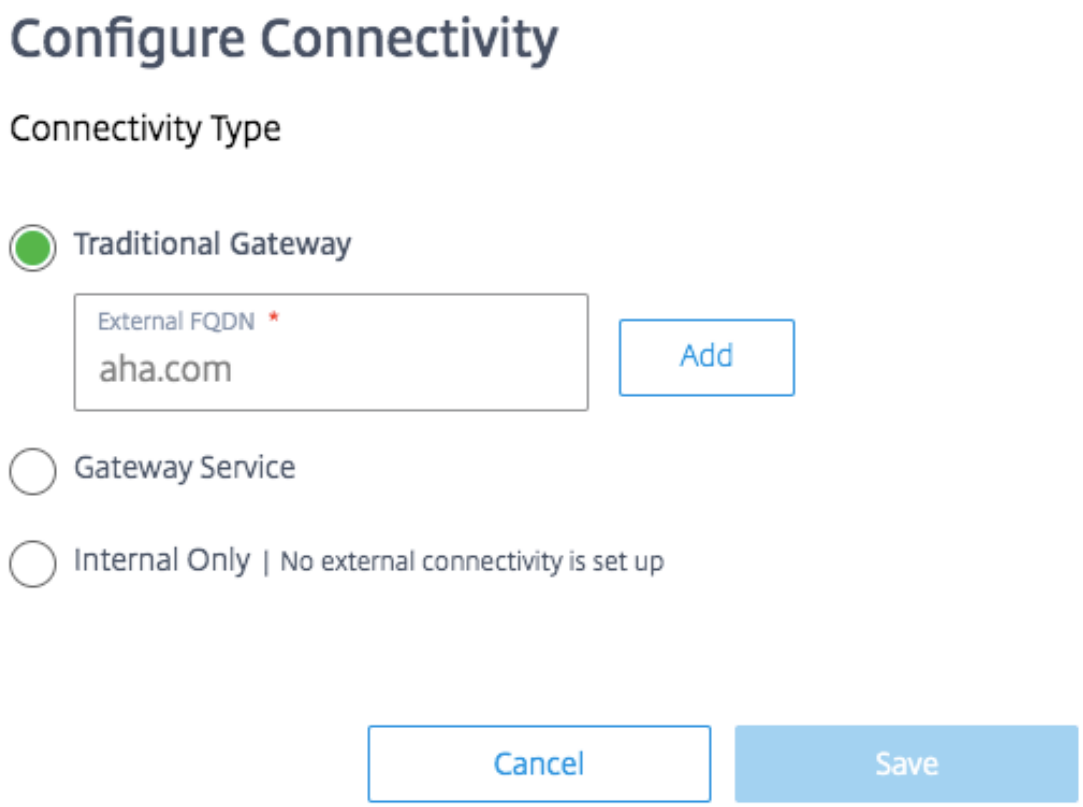
HDX プロキシをオンプレミスの NetScaler Gateway にロールバックするには、次の手順に従います。

1. 管理者ユーザーとして Citrix Cloud サービスにサインインします。
2. 左上のハンバーガーアイコンをクリックし、[ワークスペース設定] を選択します。
3. 「外部接続」セクションの「アクセス」タブで、「**Citrix DaaS** 」の「マイリソースの場所」の横にある省略記号を探します。



4. 省略記号をクリックし、[接続の構成] をクリックします。
5. [従来のゲートウェイ] を選択し、[FQDN] を入力します。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.



6. [追加] をクリックし、[保存] をクリックします。

Citrix Gateway サービスの EDT サポートを備えた HDX アダプティブトランスポート

June 13, 2023

Enlightened Data Transport ト (EDT) は、UDP 上に構築された Citrix 独自のトランスポートプロトコルです。EDT は、サーバーのスケーラビリティを維持しながら、困難な長距離接続で優れたユーザーエクスペリエンスを提供します。

アダプティブトランスポートは、Citrix Virtual Apps and Desktops のデータ転送メカニズムです。アダプティブトランスポートは、ICA のトランスポートプロトコルとして EDT を使用し、EDT が使用できない場合に TCP に切り替える機能を提供します。

アダプティブトランスポートと EDT の詳細については、アダプティブトランスポートのドキュメントを参照してください。

前提条件

- Citrix DaaS

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

- Virtual Delivery Agent (VDA) 2012 以降
- Citrix Workspace アプリ
  - Windows：バージョン 1912 以降（2105 以降を推奨）
  - Linux：バージョン 1912 以降（2104 以降を推奨）
  - Mac：バージョン 1912 以降
  - iOS：Apple App Store で入手可能な最新バージョン
  - Android：Google Play で利用可能な最新バージョン
- VDA から Citrix Gateway サービスへの送信トラフィックには、UDP ポート 443 を許可する必要があります
- Rendezvous プロトコルを有効にし、動作している必要があります。詳細については、ランデブープロトコルのドキュメントを参照してください。
- アダプティブトランスポートが有効になっていることを確認します。詳細については、アダプティブトランスポート設定のドキュメントを参照してください。
- アダプティブトランスポートと EDT の詳細については、アダプティブトランスポートのドキュメントを参照してください。

注意事項

以下は、Citrix Gateway サービスで EDT を使用する際の考慮事項の一部です。

- EDT MTU ディスカバリを有効にすることを強くお勧めします。詳細については、アダプティブトランスポートのドキュメントを参照してください。
- Citrix Gateway サービスを使用した EDT は、ランデブーを使用している場合にのみ使用できます。HDX セッションが Cloud Connector を介してプロキシされている場合、データ転送に使用できるのは TCP のみです。
- EDT セッションの確立に失敗すると、セッションは TCP にフォールバックし、セッションの起動時間が長くなります。
- Cloud Connector を介して HDX セッションをプロキシし続ける場合は、Citrix Studio ポリシーを使用してアダプティブトランスポートを無効にして、フォールバックシーケンスによって発生するセッション起動時間の増加を回避することを検討してください。
- Citrix Gateway Service の EDT は、Windows 10 および Windows Server 2019 で実行されている VDA でのみ使用することをお勧めします。Windows Server 2012 R2 および 2016 には、DTLS で暗号化されたセッションで 1024 を超える MTU を許可しない制限があり、パフォーマンスとユーザーエクスペリエンスに影響を与える可能性があります。
- アダプティブトランスポートでは、Citrix Gateway サービスは UDP オーディオをサポートしません。

トランスポートプロトコルの検証

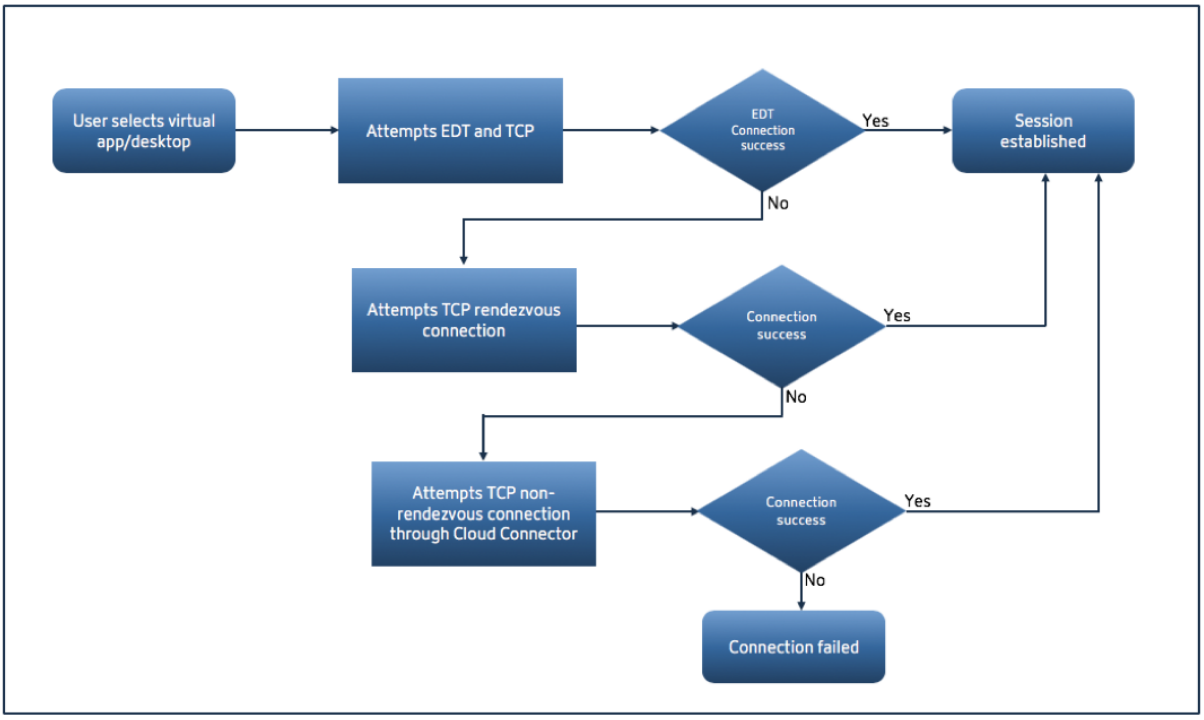
セッションが EDT を使用しているかどうかを確認するには、以下を参照してください。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

- Citrix Director の接続プロトコル: https://support.citrix.com/article/CTX220730。
- アプリまたはデスクトップを起動したら、**Citrix Workspace** アプリ］**>**［接続センター］の順に選択し、適切なセッションを選択して［プロパティ］をクリックし、［トランスポート暗号化］プロパティを確認します。DTLS が表示されている場合、セッションはトランスポートに EDT を使用しています。TLS が表示されている場合、セッションはトランスポートに TCP を使用しています。
- デスクトップを起動した場合は、PowerShell またはコマンドプロンプトを開いて "`ctxsession -v`" を実行できます。Transport Protocols プロパティには、使用されている接続方法が表示されます。
  - EDT ランデブー:" **UDP > DTLS > CGP > ICA**"
  - TCP ランデブー:" **TCP > SSL > CGP > ICA**"
  - Cloud Connector を介したプロキシ:" **TCP > CGP > ICA**"

接続のフォールバック

EDT ネゴシエーションが何らかの理由で失敗した場合、セッションは Rendezvous を使用して TCP にフォールバックします。それが失敗した場合、セッションはクラウドコネクタを介してプロキシにフォールバックします。



EDT MTU 検出

EDT MTU ディスカバリを有効にして、各セッションがその接続に対して最適な MTU を使用するようにすることを強くお勧めします。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

EDT MTU 検出が無効になっている場合、またはユーザーのクライアントでこの機能をサポートしていない場合、EDT MTU は自動的に 1380 に設定され、フラグメンテーション関連の問題を回避します。

1380 より低い MTU を必要とするネットワークを介してユーザーが接続することは可能です。これは主にモバイルネットワーク（3G、4G）または VPN 接続で見られます。このような環境で、ユーザーが使用しているクライアントが EDT MTU 検出をサポートしていない場合は、ターゲットクライアントプラットフォームでその機能が利用可能になるまでアダプティブトランスポートを無効にすることをお勧めします。

EDT MTU 検出の詳細については、アダプティブトランスポートのドキュメントを参照してください。

トラブルシューティング

次に、一般的なトラブルシューティングガイダンスを示します。

セッションは接続しますが、**EDT** を使用していません**:**

1. セッションが Cloud Connector を介してプロキシされている場合、Rendezvous が有効になっていて、正しく機能していることを確認してください。これは、Citrix Gateway Service で EDT を使用する際の前提条件です。詳細については、Rendezvous のドキュメントを参照してください。
2. セッションが TCP ランデブーを使用している場合:
   - VDA バージョン 2012 以降を使用していることを確認してください。
   - Citrix ポリシーでアダプティブトランスポートが有効になっているかどうかを確認します。
   - VDA マシンから Citrix Gateway Service に UDP 443 を開くための適切なファイアウォールルールが設定されていることを確認します。詳細については、Rendezvous] (/en-us/citrix-virtual-apps-desktops-service/hdx/rendezvous-protocol.html) のドキュメントを参照してください。
   - VDA マシンでローカルファイアウォール（Windows Defender ファイアウォールなど）が有効になっている場合は、UDP 443 をブロックするルールがないことを確認します。
   - プロキシを使用している場合、EDT のプロキシには SOCKS5 プロキシのみを使用できます。詳細については、Rendezvous のドキュメントを参照してください。

セッションは **EDT** に接続しますが、しばらくするとランダムに切断されます。

1. VDA バージョン 2012 以降を使用していることを確認してください。

セッションが接続できない**:**

1. VDA バージョン 2012 以降を使用していることを確認してください。
2. EDT MTU ディスカバリをサポートするクライアントを使用している場合は、EDT MTU ディスカバリが有効になっていることを確認します。これにより、フラグメント関連の問題を軽減できます。詳細については、アダプティブトランスポートのドキュメントを参照してください。
3. Linux または Android クライアントを使用している場合:
   - Windows または Mac クライアントが正常に動作しているかどうかを確認します。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

- CWA のバージョンが Linux 2104、Android 21.5.0 以降にアップグレードされているかどうかを確認します。
- 古いバージョンの CWA を使用している場合は、アダプティブトランスポートを無効にし、TCP ランデブーが正常に動作することを確認します。
- TCP ランデブーが動作した後、アダプティブトランスポートを再度有効にした後でセッションが接続に失敗した場合は、「セッションは接続しているが、**EDT** を使用していない」**>**「セッションが **TCP** ランデブーを使用している場合」の手順に記載されているトラブルシューティング手順を参照してください。

Google Cloud Platform 上の Citrix Gateway サービス

July 19, 2023

Google Cloud Platform（GCP）で Citrix Gateway Service がサポートされているため、Google Cloud 上でワークロードを実行しているお客様は、Citrix Gateway の最適なルーティング機能を使用して Google Cloud の高性能グローバルネットワークを活用できます。最適なゲートウェイルーティング機能により、クライアントは最も近い GCP Citrix Gateway Service POP に誘導されます。また、Google Cloud 上の Citrix Gateway Service は、Citrix Workspace クライアントと仮想化リソース間の安全な接続を提供し、可能な限り低いレイテンシーと最高のユーザーエクスペリエンスでセッションを提供します。

現在、GCP 向け Citrix Gateway サービスは次の地域で利用できます。

- 米国
  - ロサンゼルス
  - オレゴン
  - サウスカロライナ
- ヨーロッパ
  - ロンドン
  - チューリッヒ

> 注:
>
> - GCP POP は、Google Cloud マーケットプレイスからサブスクリプションを購入し、Google Cloud でワークロードを実行している Citrix DaaS のお客様のみが利用できます。
> - Citrix Gateway サービスアカウント-Citrix DaaS を利用する資格のあるお客様は、デフォルトで Citrix Gateway サービスが有効になります。お客様は、Citrix Gateway サービスの試用版を別途リクエストする必要はありません。詳しくは、「サービスへのサインアップ」を参照してください。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

前提条件

- Citrix Cloud アカウント。詳しくは、「Citrix Cloud へのサインアップ」を参照してください。

Citrix Gateway サービスの機能がサポートされています

GCP 向け Citrix Gateway サービスでサポートされている機能の一部を次に示します。

TCP HDX プロキシ -現在、TCP HDX プロキシのみがサポートされています。Virtual Apps and Desktops の起動は、TCP プロトコル経由でのみサポートされます。

Rendezvous V1 -Citrix Gateway サービスを使用する場合、Rendezvous プロトコルバージョン V1 により、VDA は Citrix Cloud Connector をバイパスして、データパストラフィックのゲートウェイ POP に直接接続できます。詳しくは、「Rendezvous V1」を参照してください。

Rendezvous V2 -Rendezvous プロトコルバージョン V2 は、制御用トラフィックと HDX セッショントラフィックの両方で Citrix Cloud Connector のバイパスをサポートしています。詳しくは、「Rendezvous V2」を参照してください。

> 重要:
>
> GCP の EDT サポートはまだ有効になっていません。

Citrix Gateway サービスを有効にする方法

Citrix DaaS を利用できるお客様は、デフォルトで Citrix Gateway サービスが有効になります。お客様は、Citrix Gateway サービスの試用版を別途リクエストする必要はありません。詳しくは、「サービスへのサインアップ」を参照してください。

制限事項

現在、GCP は米国とヨーロッパのリージョンでのみご利用いただけます。他の地域の GCP のお客様には、レイテンシーが高い問題が発生する可能性があります。

参照ドキュメント

- Citrix Cloud Connector の接続要件-詳しくは、「Cloud Connector の一般的なサービス接続要件」を参照してください。
- Cloud Connector のスケールとサイズに関する考慮事項。詳しくは、「Cloud Connector のスケールとサイズの考慮事項」を参照してください。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

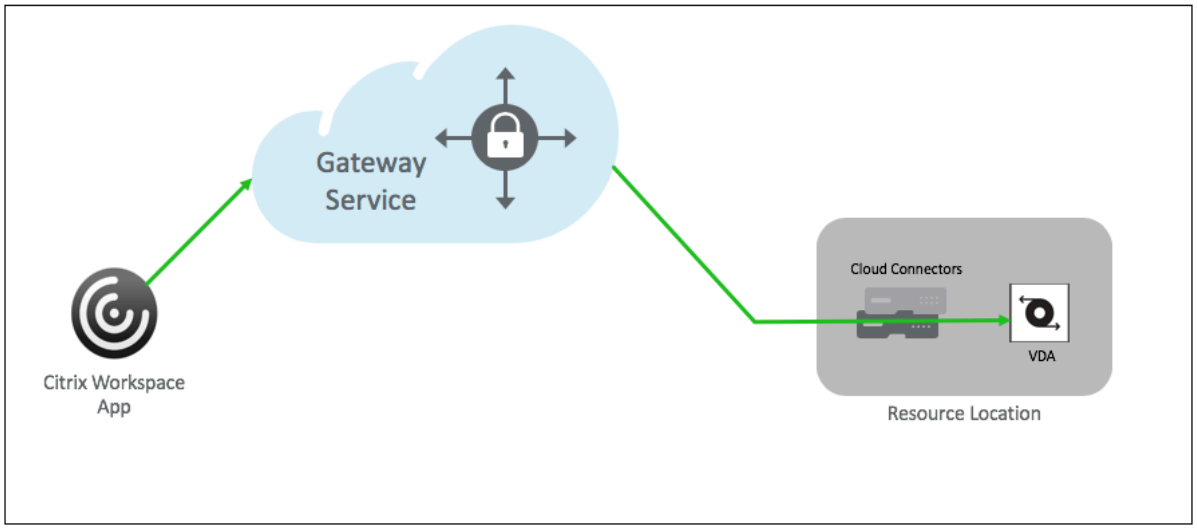
Citrix Virtual Apps and Desktops のサポート

June 13, 2023

Citrix Gateway Service により、ユーザーはラップトップ、デスクトップ、シンクライアント、タブレット、スマートフォンなどのさまざまなデバイスから Citrix Virtual Apps and Desktops に安全にアクセスできます。

Citrix Gateway Service を使用すると、DMZ に Citrix Gateway Service を導入したり、ファイアウォールを再構成したりすることなく、Citrix Virtual Apps and Desktops への安全なリモートアクセスが可能になります。Citrix Gateway の使用にかかるインフラストラクチャの全オーバーヘッドは、Citrix がホストするクラウドに移動します。

Citrix Gateway Service は Citrix Cloud で有効にします。このサービスを有効にすると、次の図に示すように、ユーザーはネットワーク外から VDA にアクセスできるようになります。



機能

ユーザーのエンドポイントとオンプレミスでホストされるリソース VDA は、Citrix Cloud Connector 経由で最寄りの POP に接続されます。その後、ユーザーが Workspace アプリから起動する仮想アプリまたはデスクトップを選択すると、その接続に最も近い POP ホスティングによって関連するリソースの場所を識別し、エンドツーエンド接続を形成するその POP への Citrix Cloud Connector セッションを確立するように指示します。その後、仮想セッションは設立されました。

- セッションは、Citrix Gateway サービスを介してクラウドパートナーの WAN 間でリンクされます。
- VDA と Workspace のエンドポイントは、ユーザーに最も近い Citrix Gateway Service の POP でランデブーします。
- 高品質のセッション。

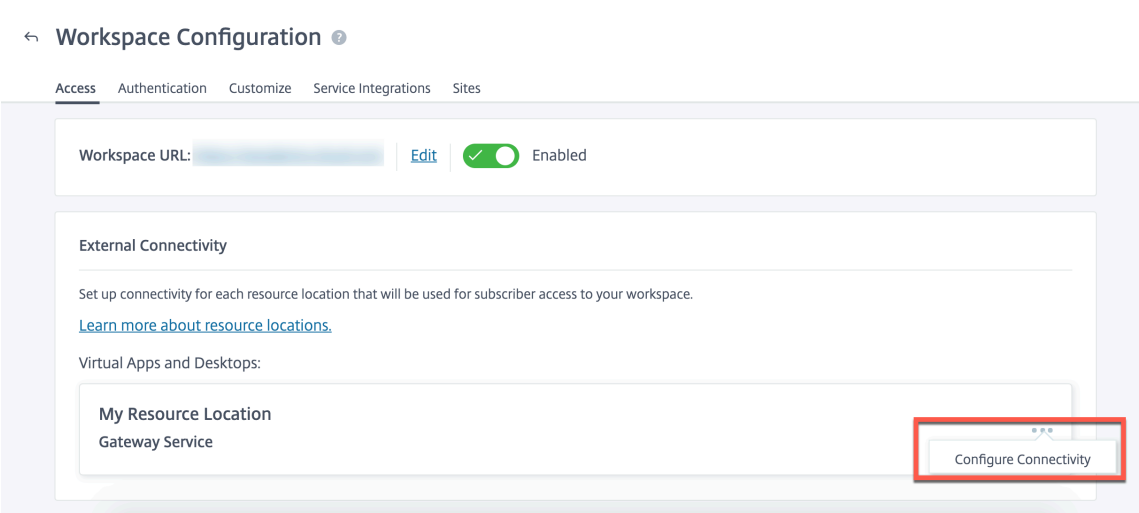
詳しくは、「HDX プロキシ向け Citrix Gateway サービス」を参照してください。

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

Citrix Gateway サービスを有効にする

Citrix Workspace ユーザー用の Citrix Gateway サービスを有効にする手順は次のとおりです。

1. 管理者ユーザーとして Citrix Cloud サービスにサインインします。
2. ハンバーガーアイコンをクリックし、「ワークスペース設定」を選択します。
3. ［外部接続］セクションの［アクセス］タブで、［**Citrix DaaS** ］の下にある［マイリソースの場所］の横にある省略記号を探します。省略記号をクリックし、[接続の構成] をクリックします。



4. ポップアップウィンドウで「Citrix Gateway サービス」を選択し、「保存」をクリックします。

よくある質問

November 9, 2023

このセクションでは、Citrix ADC VPX を HDX プロキシ向け Citrix Gateway サービスに移行する際のよくある質問について説明します。

オンプレミス構成を使用して **Citrix Cloud** に移植することはできますか

いいえ、基盤となるインフラストラクチャとメカニズムは異なります。Citrix Gateway サービスの有効化に関するセクションを参照してください。

ポータルのカスタマイズを **Citrix Cloud** にアップロードできますか**?**

これは今日不可能です。ただし、Citrix Cloud にはカスタマイズオプションはほとんどありません。次のリンクを参照してください：https://docs.citrix.com/en-us/xenapp-and-xendesktop/service/storefront.html

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

VPX を使用してオンプレミスで多要素認証または **2** 要素認証を有効にしました。クラウドでも有効にできますか**?**

Citrix DaaS で提供される VPX は、HDX プロキシ（EULA に基づく）にのみ使用する必要があり、認証には使用しないでください。クラウドでの認証は、クラウドコネクタを介して、または Azure Active Directory を使用してオンプレミス AD を使用して行われます。

クラウドサービスを使用して **SmartControl**、**SmartAccess** を使用できますか

SmartAccess と SmartControl の機能は、Citrix Gateway サービスでは使用できません。ただし、Citrix デバイスポスチャサービス（EPA スキャン用）とCitrix アダプティブ認証サービスを使用すると、これらの要件を実現できます。

Citrix Gateway サービスへの段階的な移行を行うにはどうすればよいですか**?**

ハイブリッド展開（オンプレミスの Citrix ADC VPX および Citrix Gateway サービス）をサポートする構成はありません。ただし、トライアルアカウント（期間限定）を使用して Citrix Gateway Service を有効にし、それを限られたユーザーまたはプレビューユーザーに使用することで、段階的な移行を行うことをお勧めします。

Citrix Gateway サービスに必要な最低ライセンスは何ですか**?**

Citrix DaaS または Citrix Workspace を使用しているすべてのお客様は、HDX プロキシ向け Citrix Gateway Service を使用する権利があります。

帯域幅クォータを使い切るとどうなりますか

帯域幅の使用量は、Citrix Cloud の［ライセンス使用量］ダッシュボードで確認できます。帯域幅クォータが使い果たされると、通常どおり業務が中断されることはありません。ただし、Citrix 営業担当者に連絡できるように、より多くの帯域幅を購入する必要があります。

Citrix DaaS Advanced および Advanced Plus のお客様には、以下のライセンスをご利用いただけます:

- ユーザーライセンス:1 ユーザーあたり 1 か月あたり 1 GB
- 同時ユーザーライセンス:1 ユーザーあたり 2 GB /月

Citrix DaaS Premium および Premium Plus のお客様には、以下のライセンスが付与されます:

- ユーザーライセンス:1 ユーザーあたり 5 GB /月
- 同時ユーザーライセンス:1 ユーザーあたり 10 GB /月

© 1999–2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved.

Citrix Gateway サービスを通じて確立された接続のメトリックはどこで確認できますか**?**

Citrix Analytics for Performance UI のコネクタ統計ダッシュボードには、選択したコネクタでの過去 24 時間のリソース消費量が包括的に表示され、仮想アプリおよびデスクトップ環境の Citrix Gateway Service POP までのコネクタから計算された合成レイテンシが表示されます。詳細については、「コネクタ統計」を参照してください。

© 2024 Cloud Software Group, Inc. All rights reserved. Cloud Software Group, the Cloud Software Group logo, and other marks appearing herein are property of Cloud Software Group, Inc. and/or one or more of its subsidiaries, and may be registered with the U.S. Patent and Trademark Office and in other countries. All other marks are the property of their respective owner(s).